



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

令和3年
(2021年)
7月20日

第31号

第19巻第1号
年2回発行

主な記事

- 巻頭 国際社会に貢献する
若い世代の育成を推進する
- 報告 バンコク・スラムでの教育支援 (JILAF)
- その他 会費等のお願いと納入者紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<http://www.reitaku.or.jp>
発行人・濱島直隆／編集人・横山守男

国際社会に貢献する 若い世代の育成を推進する

一般財団法人 麗澤海外開発協会
会長 廣池 幹 堂



新型コロナウイルスの感染拡大は依然として続き、私たちの日常生活はもちろん、世界の経済活動にも非常に大きな影響をもたらしています。こうした中、多くの方の命を救うために治療にあたっておられる医療関係者の皆様、またわが国の安全保障と国防の最前線に身を置いている自衛隊をはじめ、国民の生命・財産・安全を守るために懸命にご努力いただいている関係各位の皆様に、心からの敬意と感謝を捧げたいと思います。

麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、外務省所管の財団法人として設立されました。以来、半世紀にわたって開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可され、今年で創立50年を迎えます。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の副会長を務めたラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。平成26年度からはアジアからの留学生招聘事業も行い、これまで6人の留学生が麗澤大学で学びました。

また、最近ではコロナ禍のために実施を見合わせていますが、わが国の青少年の育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも定期的に行っています。これらのツアーに参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、国際協力についての理解を深め、国際貢献の場で活躍するための知識と心を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今後もささやかではありますが、これまでの実績を踏まえ、国際社会に貢献する若い世代の育成に力を入れ、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

— RODA(麗澤海外開発協会)の支援を受けて—

バンコク・スラムでの教育支援を進める -JILAF-

200万人が暮らすバンコクのスラム — 十分な教育が受けられない子供たち

タイ王国は一定の経済成長を遂げる中、一方では大きな格差を抱えていて、それが構造的な社会問題となっています。同国の首都バンコクには約2,000のスラムがあり、そこには約200万人が暮らしていて、不安定な生活を強いられています。その子供たちは十分な教育を受けられずにいます。児童労働に携わり、十分な教育の機会が与えられないまま成人になっても就労機会が制限され、更なる格差の拡大にもつながっています。これらの負の連鎖を断ち切るためにも、スラムにおける教育の機会の充実は喫緊の課題となっています。また、昨2020年からの継続的な新型コロナウイルス感染症の影響により、タイ国内の経済は大打撃を受けていて、元々不安定な生活・就労環境にあるスラム住民はいつそう就労の機会を失い、子供たちは生活することさえ厳しい状況に置かれています。

JILAFを中心に地域への支援を推進

このような状況の中、JILAF（Japan International Labour Foundation - Thailand／所長・関口輝比古）では、2020年度からRODA（一般財団法人麗澤海外開発協会／会長・廣池幹堂）の支援を受け、バンコクのオンヌット64小路にあるスラムへの教育支援事業を実施しています。このスラムにはミャンマー人の移民労働者（約400名）が居住しており、大人たちは主にゴミ集積所周辺での日雇いのゴミ拾いとゴミ分別の仕事に従事していて、学校に通えず親と一緒に働く子供たちもいます。また他のスラムよりも衛生環境が悪く、健康に悪影響を与えており、新型コロナの予防も十分ではなく、早急な支援を必要としていました。

そこでJILAFを中心に、シーカー・アジア財団、SERC（State Enterprises Workers' Relations Confederation／国営企業労働組合連盟）等で作業委員会を設置し、区役所やコミュニティーリーダー等と連携しながら支援活動を進めました。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大による度重なるロックダウンや行動制限（2020年4月から8月初旬、12月下旬から2021年2月中旬）があったため、活動実施期間が限られましたが、RODAの支援により以下の成果を得ることができました。

多くの成果を得た支援活動

- (1) モバイルライブラリー事業（計13回）を実施。スラムの子供たち（ミャンマー人50%、タイ人50%）に教育を通して将来への希望を与えることができ、子供たちの想像力を育て、集中力を高め、語彙を増やす等の効果がありました。



移動図書館で紙芝居(2020年8月1日)



移動図書館で人形劇(同年9月30日)

- (2) モバイルラーニングセンターを設置。スラムのミャンマー人の子供を対象にミャンマー語のクラス(計6回)を設け、ミャンマー人の子供13人(男児5名、女児8名)にミャンマー語の読み書きを学ぶ機会を提供しました。



モバイルラーニングセンター(2021年3月18日)

- (3) タイ人、ミャンマー人の青少年、大人を対象としたマスクや消毒ジェル、常備薬の配布と公衆衛生に関する教育(計5回)を実施。コミュニティ内の新型コロナウイルスの感染を予防することができました。



マスクの配布(2021年1月28日)



日本大使館員がコミュニティ訪問
(2020年10月28日)

教育事業への更なる支援を進める

これらの事業について、関係者(コミュニティ、各家庭、区役所等)との緊密なコミュニケーションがとれたことから、関係者の事業、教育に対する関心、理解を深めることができ、コロナ禍の行動制限により限られた期間にも関わらず、スムーズに実施することができました。

JILAFでは、今年度もRODAからの継続的な支援を受けることができ、これらの教育活動をいっそう充実させるとともに、更に今以上の教育活動(ミャンマー人子供達に対するタイ語教育の追加や失業したコミュニティの青年、大人たちを対象とした職業訓練教育等)を推進し、コミュニティ内の生活向上と子供たちの将来の選択肢を増やせるような事業の実施を検討しています。

たくさんのご支援ありがとうございます

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)掲載を同意された方をご紹介します。(順不同)

■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、大橋政夫、新井秀啓、内田八代、長谷和治、渡辺康博、竹原茂、土谷和光、林正勝、栗山清和、大田モラロジー事務所、中村修一、横山守男、山本祥子、大谷誠之、小松務、柏谷康博、橋本半兵衛、横山印刷(株)、横山明弘、合資 川貞商店、長谷篤治、館林正孝、山田雅雄、今井収、俣野幸昭、佐藤薬品工業(株)、山本浩、小野剛、松本哲洋、小西直之、藤村薫、望月一雄、古川定邑、桑島義智、小林雅純、(株)小松製菓、和田悦治、長谷川和子、井上源一、太田徳昭、佐久間三郎、水田恵一郎、所一彌、増田一江、中川千恵子、永治達彦、島田京子、濱井利一、野田雅義、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、須見好和、松岡孝終、木津孝道、大山圭子、河村満、岡崎宙子、風澤俊夫、菅澤運一、菅間正則、岩田英志、岸上肇、澤政利、有限会社 弘明堂、淡島成高、長谷真千子、田中一宏、板垣廣光、田中聖則、新井日出子、三木実、沖野二郎、北川治男、村瀬泰比古、鈴木貞夫、小金井暁子、八代京子、小峰進、鈴木孝明、肥塚憲造、森田武志、青木久子、伊藤温夫、結城保、赤松良平、加藤純一、濱島直隆、福代明正、舟橋一祝、能勢千晴、杉山幸史、関アサノ、北澤泰子、神永正男、井上景介、奥光明、我孫子利和、上萩洋三、田中孝夫、田中裕子、木下千恵子、田中精則、三信(株)、加古川モラロジー事務所、東京港モラロジー事務所、山口保安工業有限会社、貴伝名裕之、藤田和広、大津モラロジー事務所、須賀川モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、辻本篤史、(株)ピアかざりや、廣池加津子、鈴木強

■準会費

俣野貴昭、俣野喜代美、長谷憲治、長谷美世子、高野橋健吉、野川裕史、尾崎哲子、岩永和美、加藤知泰、佐藤惇、林善介

■一般寄付金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、大橋政夫、内田八代、長谷和治、荒木郁雄、横山守男、林正勝、渡辺康博、坂井モラロジー事務所、小松務、山本祥子、望月賢一、橋本半兵衛、長谷篤治、山田雅雄、俣野幸昭、山崎純雄、和田悦治、長谷川和子、大住敬一、野田雅義、福井博康、荻野益男、平塚靖永、井上照悟、佐藤惇、松岡孝終、風澤俊夫、井川好長、木崎重安、藤尾侑男、田中聖則、杉山雄彦、橋本光世、森田政見、山田武司、沖野二郎、安田誠一、八代京子、青木久子、伊藤温夫、横溝久子、飯島孝夫、舟橋一祝、佐久間三郎、鈴木強、行本まり子、伊藤喜見子、福代明正、神永正男、井上景介、上萩洋三、藤田和広、廣池加津子、市ノ渡廣志、麻野純一、石田順二、井上和、井上貢一、笠田環嗣、笠原伸泰、加藤栄一郎、神田茂、澤田修一、橋高重久、北敬子、雑賀正光、佐久間八重子、清水敏彦、鋤柄誠治、関俊章、大楽吉郎、高坂賢吉、辻本篤史、出口孝信、内藤元彦、長井孝介、西畑光廣、西村忠雄、橋本皇子、弘哲彦、前島義人、増田顕次郎、松崎美恵子、三信(株)、松島利允、三浦洋嗣、三笠忠克、三上ハツミ、光安輝雄、宮田敏子、御代川克之、山口保安工業有限会社、(株)ダイキョープラザ、野田ミート(株)、(株)三國一、世田谷北沢モラロジー事務所、小松島モラロジー事務所、大阪生野モラロジー事務所、大田モラロジー事務所、下妻モラロジー事務所、小松能美モラロジー事務所、相生モラロジー事務所、春日部モラロジー事務所、藤枝モラロジー事務所女性部、尾道モラロジー事務所、佐久モラロジー事務所、大阪柏原モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、長野モラロジー事務所、美津島モラロジー事務所、西入間モラロジー事務所、千葉中央モラロジー事務所、高浜モラロジー事務所、田辺モラロジー事務所、秩父モラロジー事務所、美馬モラロジー事務所、静岡県モラロジー協議会女性クラブ、須坂モラロジー事務所、四日市西部モラロジー事務所、南国モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、横浜モラロジー事務所、鹿行モラロジー事務所、若狭モラロジー事務所、長崎北部モラロジー事務所、長崎モラロジー事務所、津山モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂、木下廣太郎、山口明、内田八代、長谷和治、竹原茂、荒木郁雄、横山守男、山本祥子、柏谷康博、橋本半兵衛、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、山本浩、俣野幸昭、桑島義智、和田悦治、長谷川和子、島田京子、野田雅義、福井博康、荻野益男、桑島朋子、平塚靖永、松岡孝終、三木実、横山明弘、大山圭子、森田政見、沖野二郎、八代京子、岩永和美、青木久子、伊藤温夫、山田莊一、横溝久子、飯島孝夫、神永正男、上萩洋三、藤田和広、野瀬昌彦、清水敏彦、小林一正、片山道則、加藤信次、桑島祥子、長井孝介、高坂賢吉、鋤柄誠治、千葉静子、岡本毅、石黒美恵子、廣池加津子、鈴木強、山口保安工業有限会社、島崎執、林二郎、弘哲彦、小此木富士夫、野中康弘、長谷川卓司、三浦洋嗣、宮城県北部モラロジー事務所、大垣モラロジー事務所、大阪和泉モラロジー事務所、浜松西モラロジー事務所、(株)めこん、支援キルトの会ふーぶ

■メーコック財団への救援金は 701,262 円(50 件)お寄せいただいております。お預かりした救援金は令和 3 年(2021)6 月末の集計をもって、お寄せいただいた方々の名簿と一緒にメーコック財団へお渡しいたします。

種 類	年 額
会 費	1 口 1 万円 (1 口以上)
法人会員	1 口 1 万円 (1 口以上)
準 会 員	1 口 2 千円 (1 口以上)
寄 付 金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱 UFJ 銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義／一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人 麗澤海外開発協会事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

T E L : 04-7173-3165

F A X : 04-7173-8953

E-mail : kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP : <http://www.reitaku.or.jp/>



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。